

夏の屋外園散歩

太陽がキラキラ、入道雲がモクモク、夏真っ盛りです。屋外園では夏の花が咲き、昆虫が元気に活動しています。

二千年も生き続けたオオガハス

千葉市の^{けみかわ}検見川から掘り出された二千年前のハスの種が大賀一郎博士によって発芽し開花したことからこのハスの種は二千年生き続けていたことがわかりました。大賀ハス、二千年ハスと名づけられました。屋外園の**オオガハス**は2013年に千葉市より分根によりゆずり受けたものです。



祇園祭の花 ヒオウギ (アヤメ科)

葉が重なり合うように並ぶ様子が、平安時代に貴族が使った檜扇(ひおうぎ)を思わせることからこの名がつけました。夏に濃い赤色の斑点が入った橙色の花をつけます。



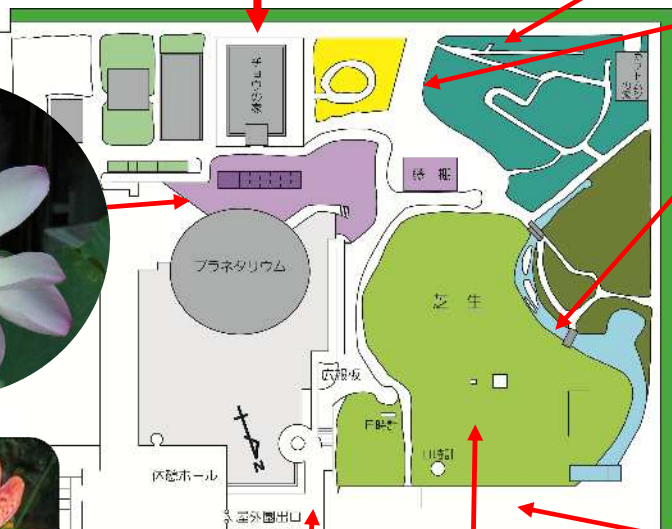
祇園祭には^{やくよけ}厄除けの花として活けられます。秋に真っ黒な種ができるのでカラスオウギとも呼ばれます。この黒色の種を

「射干玉：ぬばたま」または「烏羽玉：うばたま」と言います。



夏休み中のチョウとカブトムシの公開

チョウの家では3種の沖縄のチョウを観察できます。西側と南側の窓の外からいつでも観察できるようにしています。カブトムシの成虫は展示場2階で観察できます。ご覧ください。



花ざかりです

夏の花ペチュニアとマリーゴールドを植えています。ペチュニアは花色も多くてきれいですね。



芝生にかわいい花が

まっすぐに伸びた^{かげい}花茎にらせん状にピンク色の花をつけた**ネジバナ**(ラン科)が見られます。どんなねじれ方をしているでしょう。



爽やかな香りです

イブキジャコウソウ(シソ科)が薄い桃色の小さな花を咲かせています。滋賀県の伊吹山に多く自生するところからこの名がつけました。**タイム**の名で園芸店でもよく見かけます。2019年に京都大学からいただきました。



あれ！白い花びら？

ハンゲショウ(ドクダミ科)ひも状の花のすぐ下にある葉は白くなります。花びらのようです。^{はんげしょう}半夏生(夏至から11日目)の頃に花を付けるのが名前の由来という説と、葉の一部が白くなるので^{はんげしょう}半夏粧という説があります。



教材園で観察しましょう

小学校の理科の学習で栽培する植物を育てています。生長の様子を観察してみましょう。ヒマワリ、ホウセンカ、ツルレイシ、マリーゴールド、ジャガイモ、アサガオ、トウモロコシ、コスモス、タデアイなどが観察できます。



タデアイ

^{あいぞめ}藍染や漢方薬の原料として利用されます。

虫のレストラン



ゴマダラチョウ オオスズメバチ カナブン

クヌギやアベマキの^{じゆえき}樹液を求めて**カナブン**や**コクワガタ**などの甲虫や**ゴマダラチョウ**が集まっています。早朝には**カブトムシ**もやってきます。**スズメバチ**の仲間もやってくるので気をつけて観察しよう。

のぞいてみよう 川や池

川には**メダカ**や**アメンボ**が泳いでいます。**アメリカザリガニ**も見つかるよ。**オオシオカラトンボ**も飛んでいます。



オオシオカラトンボ
上オス・下メス

7月

花だより

京都市青少年科学センター



ハンゲシヨウ



ミソハギ



ノカンゾウ



ハマオモト



アガパンサス



カンナ



ヒオウギ



ダイオウシヨウ
(大玉松)



キミガヨラン

花だんの花



ペチュニア



フジバカマ



マリーゴールド



オニユリ



ポダイジュ



ハナブン
ツクバネウツギ



クサギ



トウネズミモチ

屋外園が
呼んでますよ!

令和3年(2021年)7月